

J Aバンク東京における地域密着型金融の取組状況（平成 24 年度）

J Aバンク東京（東京都下 J A と東京都信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 22～24 年度 J Aバンク東京中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 24 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク東京の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク東京は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク東京は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 25 年 3 月末時点の J Aバンク東京の農業関係資金残高^{（注1）}は 2,612 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は 247 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク東京が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	25 年 3 月末現在
農業	2,091
穀作	0
野菜・園芸	216
果樹・樹園農業	26
工芸作物	8
養豚・肉牛・酪農	114
養鶏・鶏卵	4
養蚕	0
その他農業	1,720
農業関連団体等	520
合計	2,612

（注）

1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、J A や全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】 単位 百万円

種 類	25年3月末現在
プロパー資金	1,773
農業制度資金	838
農業近代化資金	834
その他制度資金	4
合 計	2,612

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク東京が低利で融資するもの、日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは の転貸資金と を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 単位 百万円

種 類	25年3月末現在
日本政策金融公庫資金	247

(注)

JAバンク東京では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク東京では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、都内15JAの本店には16人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

(3) 生産者と消費者をつなげる場の設置

JAバンク東京では、東京都農林水産振興財団が主催する「東京農林水産フェア」において共催企業として参加・協力しております。

2. 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク東京は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

新規就農者の支援

ＪＡバンク東京では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】			単位 件、百万円
	平成 24 年度 実行件数	平成 24 年度 実行金額	平成 25 年 3 月末 残 高
就農支援資金（転貸）	0	0	7
その他	17	51	49
合計	17	51	56

3 . 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

ＪＡバンク東京では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) ＪＡバンク食農教育応援事業の展開

ＪＡバンク東京は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、ＪＡバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「食農・環境・金融経済」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「食農・環境・金融経済」は、ＪＡバンク東京を通じて、都内の小学校 1,462 校へ、121,592 セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、都下ＪＡでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【ＪＡバンク食農教育応援事業による活動内容例】

ＪＡ名	活動名	活動内容
ＪＡ西東京	あぐりキッズスクール	管内小学校 3 年生以上による農業体験スクール
ＪＡにしたま	親子農業体験学習	親子ペアによるさつまいも栽培から収穫体験
ＪＡあきがわ	あぐりスクール	管内在住親子を対象とした親子農業体験
ＪＡ八王子	農業祭ちびっ子広場	市内の小学生を対象としたミニ牧場、搾乳体験等
ＪＡ町田市	学童農園設置事業	忠生第三小学校 5 年生・図師小学校 5 年生を対象とした稲作体験
ＪＡマインズ	食農教育	市内の小学校・中学校を対象とした、大根の栽培・収穫等
ＪＡ東京みどり	稲作体験学習	国立市立小学校 8 校の 5 年生を対象とした稲作体験
ＪＡ東京みらい	地場産野菜の料理教室	富士見小学校 5 ～ 6 年生を対象とした、地場産野菜を使用した料理教室の実施

JA名	活動名	活動内容
JA東京むさし	学童農園	小平市内の19小学校を対象とした、学童農園の収穫体験発表及び収穫物の展示
JA東京中央	屋上たんぼ教室	塚戸小学校5年生を対象とした、屋上たんぼ作業の指導
JA世田谷目黒	給食から学ぶ	目黒区内の小学校・中学校を対象とした、地場産野菜の促進・提供
JA東京スマイル	学校給食への食材提供	小学校194校・中学校94校を対象とした、地場産野菜の小松菜の提供

(2) 地域貢献事業への取組み

東京都が実施している「緑の東京募金」へ残高の一部を寄付する定期貯金として、平成21年度からJAバンク東京の統一商品「みどりがいっぱい定期貯金」の取扱いを行い、平成24年度は650万円を「緑の東京募金」に寄付いたしました。

また、社会福祉法人東京都共同募金会が実施している「赤い羽根共同募金」へ残高の一部を寄付する「東京の赤い羽根定期貯金」の取扱いを行い、600万円を「赤い羽根共同募金」に寄付いたしました。

みどりがいっぱい定期貯金キャンペーン

「みどりがいっぱい定期貯金」にお預入れいただいた額の0.03%相当額を「緑の東京募金」へ寄付いたします。
お客様の負担はございません。

店頭表示金利 **プラス年0.1%** (取引額年0.09%)
上乘せいたします。

キャンペーン期間 平成24年4月2日(月)▶平成24年5月31日(木)

「みどりがいっぱい定期貯金」商品概要
 対象商品: 1年6か月・3年定期貯金(非特約) (非特約自動継続)
 預入金額: 10万円以上1,000万円未満(一部入1円単位)
 貸付利率: 個人の方には適用されず。
 貸付利率: 非特約
 特約期間: 中継期間については、約定の貸付利率が適用されます。
 特約: 100万円に限り適用されません。

もれなくプレゼント!
 キャンペーン期間中、特約の口座にお預入れいただいた方に、お礼として「お礼の感謝状(特約)」を1冊プレゼント!!
 ※お礼メールです。

JAバンク東京

東京の赤い羽根定期貯金

「東京の赤い羽根定期貯金」にお預入れいただいた額の0.03%相当額を「赤い羽根共同募金」へ寄付いたします。
お客様の負担はありません。

店頭表示金利 **プラス年0.1%**
上乘せいたします。

キャンペーン期間 平成24年9月3日(日)▶平成24年10月31日(木)

「東京の赤い羽根定期貯金」商品概要
 対象商品: 1年6か月スーパー定期貯金(非特約) (非特約自動継続) 全入特約 任意式
 預入金額: 10万円以上1億円未満(一部入1円単位) 中継期間 中継期間については、約定の貸付利率が適用されます。
 貸付利率: 個人の方には適用されず。
 ※詳しくは窓口にお問い合わせください。
 取扱店舗数: 100店舗 取扱期間中であっても、東京都のJAバンクで特約期間に達した場合には、お預入れも終了させていただきます。

JAバンク東京

<http://www.jatokyorin.jp/>

以上